

ひびばい 市議会だより

令和7年11月18日

73号

発行 美 唄 市 議 会
編集 市議会広報委員会

7/25議員会草刈り

第3回定例会(9月3～19日)終わる

☆ 令和6年度一般会計決算(歳入)

194億7454万円6964円認定

☆ 令和7年度一般会計補正予算(第2号)

13億1283万7千円可決

令和7年第3回定例会は9月3日に開会しました。

本会議冒頭の市政報告では、収賄容疑で逮捕・起訴されていた元職員の再逮捕、また、市の対応として「入札・契約制度検討委員会」、「コンプライアンス委員会」の開催等について報告がありました。

議案については、報告案件2件、条例改正案件8件、単行案件1件、補正予算案件4件、決算認定案件10件、人事案件2件、請願案件1件の計28件が上程されました。

一般質問は8日と9日に行われ、11人の議員が、市長、教育長並びに選挙管理委員長に対して質問しました。

補正予算については、一般会計で、13億1283万7000円、国民健康保険会計で、991万1000円、介護保

険会計で、6665万9000円を審議し可決しました。

最終日には、令和6年度一般会計決算認定、下水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算認定、市議会の組織運営のあり方に関する陳情書不採択、美唄国設スキー場整備費に関する補正予算承認の計4件については反対があり起立採決となりました。結果として全議案は付託された委員会の報告のとおり可決しました。

また、議会から国に対する意見書を5件提出しました。

◆◆ 主な内容 ◆◆

- ◆ 一般質問
- ◆ 各委員会の報告
- ◆ 議会構成
- ◆ 定例会審査議案
- ◆ お知らせ
- ◆ 市議会の動き
- ◆ 編集後記

一 般 質 問

今定例会では、11人の議員が一般質問を行いました。
質問・答弁は本人が要約したものを掲載しています。

令和議員会

森 明人 議員



問 今年度4月から带状疱疹ワクチン接種助成が始まったが、広報メロディーでの告知が4月末、対象者への案内は5月中旬となった経緯と、今後の対応について伺う。

答 市民への周知について4月末になった経緯は、予防接種法の改正により、令和7年度予算を計上、市議会での議決後において、助成制度の整備を行った。

法律改正後速やかに事業を開始することが望ましいが、関係する医療機関等への周知や調整も必要であったことから、5月からの実施とした。

広報紙への掲載だが、議決後の原稿提出のため、実施月である5月号となり、市民のお手元に4月下旬にお届けした。

また、令和7年度に対象年齢の個別の案内については、郵送物の準備のため、5月13日に通知を行った。

なお、市のホームページについては、原則、広報紙と同時に掲載しているが、個別通知後に掲載となったことを反省点とし、今後は適切な時期の情報発信に努める。

問 道道美唄富良野線の開通から1年が経過し流入人口や経済効果に期待しているが、これまでどのような取組がされているのか伺う。

答 今年7月2日に「道道美唄富良野線活用地域活性化促進協議会」が設立され、この協議会が中心となって事業展開を行うこととしている。

また、昨年採用した副業型地域活性化起業人の活動提案でありますが、観光地の発展を目的に、人流ビッグデータ分析を活用し、今後の道道美唄富良野線を含む観光戦略の策定や事業展開を行う計画である。

みずほ議員会

松山 教宗 議員



問 総合体育館などスポーツ施設利用者が年々増えている。市の事業のほかに指定管理者独自事業として取り組んでいることが大きいと考える。

また施設整備は老朽化している施設が大半を占め、総合体育館を含め全道大会など開催する上で駐車場が手狭で凸凹もあるので改修など施設管理及び施設整備をどう考えているのか。

答 スポーツ施設のうち弓道場と体育センター以外の施設に指定管理者制度を導入し管理運営を行っている。今後は所管する全てのスポーツ施設に同制度を活用した管理運営を考えている。

またスポーツ施設においても利用する競技団体などのご意見を伺いながら将来に向かっていく。

て持続可能な施設とするため「予防的保全」や「計画的な更新」を図るとともに、災害時や全道規模の大会誘致のため、駐車場の修繕及び拡張も含め、国や道などの有利な財源を活用した整備を進めていきたい。スポーツ施設は災害時に市民の避難策として重要な施設なため必要な機能など市長部局と協議し整備していく。

問 学校体育館に冷房を設置すべきでは。

答 学校体育館は近年の猛暑により、授業や学校開放で体育館を使用する児童生徒又は市民の健康と安全を守る観点から必要性は十分に認識している。

現時点で市内全小中学校体育館への冷房設備設置に要する財源確保が難しく、特に建物の構造上の問題や電力設備の増強工事が必要となるなど多大な予算が必要。引き続き国の補助制度の動向を注視し財源確保に向け検討を進め避難所として防災機能の強化という観点からも市長部局と連携しエアコン設置の可能性を探っていく。

市民交流クラブ

山上 他美夫 議員



問 市民アンケートでは交通の利便性について「のるーと美唄」の運行区域拡大と運行台数の拡充についての要望が多いが、市の考えを伺う。

答 「のるーと美唄」の運行区域の拡大及び運行台数の拡充については、民間事業者が運行していた南美唄バス路線の一部廃止に対応し、運行区間に加えたほか、市民の皆様からの要望や、市民バス・乗合タクシー及び民間バス路線などの利用実態のほか、「のるーと美唄」の運行実績を踏まえながら、「地域公共交通活性化協議会」で検討・協議を進める。

問 美唄市の人口は6年後には1万5000人を割り込むと想定されている。

中心市街地の衰退は人口が

減少する要因でもあり、人口減少の抑制策として中心市街地の賑わい再生と、移住定住の促進施策の更なる充実が必要と思うが考えを伺う。

答 人口減少対策としては地域おこし協力隊によるコアビバイでの各種イベントや無料買い物バスの運行支援などを行っているほか、まちの賑わいづくりの為に『美唄市中心市街地活性化基本計画』を策定中である。

中心市街地の空き家・空き店舗の活用についても、起業する方への支援を行ってきたが、制度の更なる拡充に努める。

また、移住定住促進のための施策が重要と考えており、「移住者・定住者への助成制度」を設けて支援を行っているなど、移住者が「美唄に住みたい、住み続けたい」と思える環境整備に努めていく。



コアビバイ

無会派

永森 峰生 議員



問 元職員による背任容疑がかけられた下水道人孔改良工事の内容、設計変更の内容、理由、金額が2倍以上となった議論経過、現場の管理監督体制、完了検査体制と合格となつた経過と工事の財源となつた地方債のペナルティなどの影響について伺う。

答 この工事は、凍害や老朽化による既設マンホール周辺の舗装の段差などの損傷を解消するもので、マンホール補修8か所、人孔周辺舗装補修14か所で令和6年5月16日、489万5000円で株式会社シンセイ建設に落札、令和6年6月5日、設計変更でマンホール補修6か所、人孔周辺舗装補修26か所に変更し、加えて雨水ゲートフェンス補修や残土置場搬入路敷鉄板設

置などを追加し、525万8000円増額となる1015万3000円に変更したものである。

理由は事前に工事担当者から増額理由などの上申書により報告を受け部長専決により許可したものである。現場の管理監督体制は、設計担当者、上司の係長が監督員とし、完了検査体制は、上下水道課長補佐を検査員とし、監督員、請負業者の同席で行われた。地方債の影響は繰上償還や補償金が発生する可能性がある。

問 上申書提出の実態と全ての箇所において実地検査が実施されたかを伺う。されたとすれば、市政報告で「実際の工事実績を308万円にとどめ」と言っていることに整合性が無い。要因について伺う。

答 上申書に関する質問は、検査完了実態に関する質問は、9月26日、第1回公判が行われるため、捜査情報であることから、現段階では答弁を控える。

《その他の質問事項》

◎令和7年度普通交付税の交付額について

◎職員の健康管理と働き方の実態について

令和議員会

川上 美樹 議員



問 本市の44・8%が、65歳以上になった。

高齢になり様々な困り事ができた時にどうするか、特に一人暮らしや閉じこもりになりがちな高齢者の場合、誰かとのつながりが無ければ相談もできない。

「地域包括支援センター」の存在を知ってもらふことや市として積極的に支援や情報を届ける働きが必要であると思う。多くの施策を取り揃え、事業を行っていることを、もっと市民に知ってもらふことが大切だと思う。今後において、周知を更に強化する必要があると思うがどうか。

答 相談、生活支援、認知症等については、広報紙やホームページへの掲載、ぴば生活便利帳や、漫画で分かり易く、

市議会だより

骨折した場合や虚弱、物忘れなどへの具体例を示した冊子を配布している。

心配事があれば「地域包括支援センター」へご連絡をいただきたい。今後も情報発信の充実に更に努める。

問 炭鉱（空知や港（小樽）、鉄鋼（室蘭）で栄えたまちが連携して取り組む「炭鉄港」について、また市内の歴史的文化財の保護について、次世代へ引き継いでいく必要があると思うが、市長はどう考えているのか。

答 「炭鉄港」の取組については文化庁から「重点支援地域」として再認定を受けたところであり、文化財保護、環境整備等に対する優遇措置を活用し構成市町と連携して取り組む。

炭鉱産業は黒歴史として認識されがちだが、日本経済を支えた価値ある歴史として後世に伝えていくように、日本遺産「炭鉄港」を活用した地域活性化と、観光地づくりの発展に取り組む。

また市内にある文化財と共に維持、保存を進めて行く。

みずほ議員会

古賀 崇之 議員



問 気候変動による地域福祉会館の冷房設備の設置及び冬期間の除雪対策について市長の見解を伺う。

答 本市において現在、冷房設備が備わっている福祉会館は数か所に留まっているところであるが、夏の福祉会館における利用者の熱中症などの対策として、冷房設備等の設置が有効な方法であると理解しているが、冷房設備を設置することで電気料金等、会館運営に大きな負担になることが予想されるため、各福祉会館の指定管理者から意見をお聞きし、有効的な暑さ対策並びにクーリングシェルトとしての会館解放について検討していく。

冬期間の除雪体制については各福祉会館の指定管理者が自

分で除雪を行う会館や業者に委託するところなど、地域事情によって異なっているが、大雪等の際には、現地へ出向き目視による状況確認を行い緊急対策が必要な場合は指定管理者と協議し個別に対応している。

今後においても市と指定管理者が協力し年間通して安心して利用できる体制を維持していく。

問 フォーネスビジュアス検査を利用した特定健康診査と特定保健指導について市長の見解を伺う。

答 熊本県荒尾市で取組まれているフォーネスビジュアス検査を活用した取組は疾病リスクの確認、生活習慣病改善等有効な取組の一つとして認識している。

本市における特定健康診査、特定保健指導については、生活習慣病の予防や改善、病気の早期発見、適正な医療機関への受診につながり、市民の健康づくりや医療費の適正化を図る観点からも重要であり今後も、他の自治体の取組等も参考にしながら市民の皆様への健康づくりへの意識向上に努めていく。

市民交流クラブ

齋藤 久美夫 議員



問 水道事業における、今後の本市の上水道の運営について、現在の美唄水系と桂沢水系の二系を維持していくのか。それとも現在の美唄の浄水場の稼働期間を見据えて桂沢水系に統一を目指すのか。さらに違った方式による複合的な運営を考えているのかを市長に伺う。

答 既存の美唄浄水場は完成から45年を経過しており、今後人口減少による収入減が見込まれるなか、浄水場や管きよなど施設の更新が大きな負担となるため、地域創生として将来を見据えた検討が必要であると考える、水道事業における一つの方策として、従来のダムを水源とする大規模集積型水道システムだけでなく、地下水などを水源とする、小

規模分散型水道システムが本市に適用するかを、北海道大学の監修のもと調査検討を始めたところであり、今後、大規模集積型と小規模分散型の比較結果を十分考慮し、施設の更新計画や更新費用の縮減効果を、総合的かつ慎重に判断したいと考えている。

問 元職員の再逮捕に関して、管理職の職務と職責について、市長に伺う。

答 市としては、事件発覚からこれまで警察及び検察の捜査に協力し、9月26日には札幌地方裁判所において、元職員の第一回の公判が行われるが、元職員が具体的にどのような工事発注の水増し請求を主導したかについては、公判前の捜査情報ということもあり、警察及び検察からの情報はないところであり、公判の進展を注視しながら、事件全体の事実確認ができた段階で、厳正に対処したいと考えている。

無会派

本郷 幸治 議員



問 「5歳児健診」の実施に向けた取組について、令和5年12月に「子ども家庭庁」において1か月児及び5歳児健康診査支援事業が策定され、いずれも公的予算の対象となった。

答 5歳児健診の目的は「幼児期において幼児の言語の理解能力や社会性が高まり、発達障害が認知される時期であり、保健・医療・福祉による対応の有無がその後の成長・発達に影響を及ぼす時期である5歳児に対して健康診査を行い、子どもの特性を早期に発見し特性に合わせた適切な支援を行うとともに、生活習慣、その他育児に関する指導を行い、幼児の健康の保持及び増進を図ること」としている。

子どもは宝であり心身の健

やかな成長のためにも「5歳児健診」の早期実現に向けて取組むべきと考えるが市長の見解を伺う。

答 5歳児は、身体的な発育や精神発達のほか、集団生活を送る上で求められる社会性や調和的な行動などの成長がみられ、基本的な生活習慣が安定する時期とされている。

5歳児健診は、子どもの成長発達や日頃の生活習慣及び集団生活について保護者とともに確認でき、子どもの心身の発達や社会性を促すための専門的な相談の機会を通して、適切な支援や就学の準備につながるものと認識している。

本市においては、令和8年度の5歳児健診の実施に向け、医師、保健師、管理栄養士のほか、子どもの発達や心理の専門職が子どもの発達支援に従事するとともに、診断後のフォロー体制を含め、保育所幼稚園など集団生活の場や地域においても支えられるよう、関係部署と情報共有を図り準備を進めている。

市民交流クラブ

江川 いづみ 議員



問 ヒグマ出没への対応強化や緊急銃猟について伺う。

答 情報提供や避難誘導など、警察署や猟友会、空知総合振興局と連携し緊急対応計画を策定して体制整備を進めている。山沿いや河川敷の草刈りは有効であるが広範囲のため十分な管理は難しい。若手ハンターの育成や市民への啓蒙に努める。緊急銃猟については対応マニュアルを策定する。

問 介護職不足や物価高騰に対する介護サービス事業所支援や持続可能な地域包括ケア施策と深化について伺う。

答 具体的な支援要望はないが、介護事業者の重要性は認識しており、経営状況を注視し、業界全体に共通する深刻な問題が生じた場合は財政支援も検討する。現在、小規模

多機能型サービスの開始を目指しており、今後は、福祉DXを活用した取組についても国の動向を注視する。

問 手話施策推進法が施行され、美唄市手話言語条例の推進や学校教育における手話学習機会の提供について伺う。

答 パンフレットや福祉関連行事に手話通訳を配置し、手話の周知や理解促進に努めている。今後、手話文化の保存・継承・発展が図られる取組を手話言語条例推進委員の意見も聞き進めていく。学校においては、先進事例などの情報を提供し、総合学習・行事等で手話を学習する機会を作るよう指導・支援する。

問 市指定文化財、公民館分館である旧桜井家住宅について、市の考え方や対応を伺う。

答 施設の老朽化が著しく、維持管理が困難で公民館機能は休止中だが、指定文化財として継承するため、データ保存や映像記録を行っている。市民が親しめる場所としての活用は、利用状況を勘案し検討する。今後、企業や事業者とも連携し、整備が必要な場合の財源は市長部局と検討する。

無会派

吉岡 建二郎 議員



問 市政報告について、元職員が背任容疑で再逮捕となった。公判はこれからだが有罪が確定した場合、損害賠償請求は行うのか。

また、過去に市職員が競争入札妨害及び収賄で有罪となった際には、市長、副市長の減給を行ったが今回の件での対応はどのように考えているか。

答 今後の見通しは公判が控えているため不透明ではあるが、公判の進展を注視しながら事実関係の把握に努め、公判が結審して損害額が確定された段階で、顧問弁護士と相談し、損害賠償請求に係る民事訴訟の提起について検討していく。

また、管理監督の立場にあり、指導的役割を担う元職員が、このような事件を起こし

無会派

伊原 潤司 議員



委員会の報告

常任委員会と特別委員会での質疑応答と議論の主な内容

第2回定例会

《総務・文教委員会》

41号 美唄市職員の育児休業等に関する条例及び美唄市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部改正の件

問 近年、男性の育児参加が増え、今回の改正でさらに育児休業を取得しやすい制度となるようだが、これまで美唄市としての実績はどの程度あるのか。

答 使用料については、現在、全庁的に料金の見直しが検討されていることから、その協議を踏まえ、団体等の意見も聞きながら、検討していきたい。

また、制度を使いやすい環境づくりが大切と考えるが、今後、実効性のある制度となるよう、どのような取組をしていくのか。

答 令和6年度に育児休業を取得した職員は11人で、そのうち男性職員は2人、令和7年度は8月末時点で、育児休業取得者9人のうち、男性職員は3人の取得があった。

今後については、取得希望者数を把握しながら、積極的な環境づくりに努め、併せて制度を利用する職員がハラスメントを受けることがないよう対策を取っていきたい。

44号 美唄市間口除雪事業条例の一部改正の件

問 改正に伴う世帯区分につ

な環境づくりに努め、併せて制度を利用する職員がハラスメントを受けることがないよう対策を取っていききたい。

43号 美唄市弓道場条例の一部改正の件

問 弓道場の使用料は、部活動の活性化やスポーツ振興の観点から、極力抑えてほしいが、指定管理者制度の導入によつて使用料の改定はあるのか

答 使用料については、現在、全庁的に料金の見直しが検討されていることから、その協議を踏まえ、団体等の意見も聞きながら、検討していきたい。

40・42号 質疑なし

40・43号 原案可決

《産業・厚生委員会》

44号 美唄市間口除雪事業条例の一部改正の件

問 改正に伴う世帯区分につ

たことに対して、市政の責任者として、また、任命権者として、厳粛に受け止めている。

事件の真相究明に向けて全力を傾注し、自らの責任については、事件全体の事実確認ができた段階で判断する。

問 「買い物難民」対策について、認識と、実態把握、今後の対応について。

答 過疎化、高齢化が進む本市にとって、郊外だけでなく母町地区に居住する方も「買い物難民」となりうる状況は認識している。具体的な人数は把握できていないところ。

現状は、民間事業者が提供している移動販売車や宅配などのサービスがあるほか、市では乗り合いタクシーやAIデマンドバスを運行するとともに、毎週土曜日、進徳地域・いなほ地域の2つの地域からコアビバイまでの無料買い物バスの運行に対し支援している。

今後は移動販売のサービスや、生鮮食料品等の販売を行っている市内業者と連携し、現状や課題などの把握に努め、公共交通環境の維持・向上に引き続き取り組むなど、必要な対策を検討する。

無会派
伊原 潤司 議員



問 中心市街地再開発と活性化策の現状について、担当部及び新設された協議会での進捗状況を伺う。

答 『美唄市中心市街地活性化基本計画』では令和8年から12年までの5か年を計画期間とし、活性化協議会の設置と議論を進め、年内には市民や関係団体から意見を募って修正を加え計画案を策定し、来年1月までに国に計画の認定申請を行う予定である。

問 国費投入による小学校での給食費無償化の実施まで半年となり、無償化先進地としてこの国策を利用して美唄の子どもたちの為に更なる工夫を準備していると思うが、本市の対応状況について伺う。

答 令和8年度から小学校から国費投入の方針が示されて

いる。本市の学校給食を更に充実させるに有効な財源措置である。地元食材を活用しながら食農教育に一層努め、質の高い給食提供は本市への移住定住促進にもつながる重要な施策と考える。

問 国の財源措置を従来独自施策財源と置き換えることに終わらせては無意味である。全国的に朝食欠食の児童の割合が高止まりであるが、文科省の統計でも朝食を摂る児童の方が、学力が高い傾向が示され、朝食も学校で提供する自治体が出始めており、あわせて夏期及び冬期長期休業や学童保育活動中等にも食事の提供を行う自治体さえ存在している。本市としてこの様な施策に取り組む考えは無いのか伺う。

答 保護者の意思に関わらず様々な事情で食事の提供が叶わない家庭や長期休業中の欠食は全国的な課題と把握している。このため保護者本来の養育義務を原則としながらもやむを得ない事情のある家庭の実態把握に努め事業の有効性を判断し、必要と判断した場合には事業として検討していく。

また、制度を使いやすい環境づくりが大切と考えるが、今後、実効性のある制度となるよう、どのような取組をしていくのか。

答 令和6年度に育児休業を取得した職員は11人で、そのうち男性職員は2人、令和7年度は8月末時点で、育児休業取得者9人のうち、男性職員は3人の取得があった。

今後については、取得希望者数を把握しながら、積極的な環境づくりに努め、併せて制度を利用する職員がハラスメントを受けることがないよう対策を取っていききたい。

44号 美唄市間口除雪事業条例の一部改正の件

問 改正に伴う世帯区分につ

市 議 会 だ よ り

いて、介護保険法施行令の条文が記載されているが、市民にとって分かりづらい表現だと感じるため、より分かりやすい表現に改める考えはないのか

答 条例の文言だけでは、市民の方に内容が伝わりにくいため、市民向けのパンフレットには具体的な金額を明記し、分かりやすい表現で周知に努める。

48号 美唄市病院事業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正の件

問 改正に伴い、「1年につき管理者が指定する時間を超えない範囲内」という文言が追加されたが、具体的な上限時間について

答 「1年につき管理者が指定する時間を超えない範囲内」については、年間で最大77時間30分となっている。

45号 質疑なし

44号 原案可決

請願1号 国立病院の機能強化を求める請願

願意妥当

《議会運営委員会》

陳情1号 美唄市議会の組織運営のあり方に関する陳情
起立採決 不採択

《予算審査特別委員会》

委員長 齋藤 久美夫
副委員長 森 明人

49号 令和7年度美唄市一般会計補正予算(第2号)

(表1)

問 「総合体育館整備事業」について、空調設備の新設のため工区により工事期間が4か月又は5か月と設定されているが、利用者への影響はないのか

答 休館が必要な工事がある場合は、休館日に行うこととしているため、工事期間中の利用者への影響はないと考えている。

50号 令和7年度美唄市国民健康保険会計補正予算(第1号)(表2)

質疑なし

51号 令和7年度美唄市介護保険会計補正予算(第1号)(表2)

問 「介護給付費準備基金積立金」について、どの様な場合に使われるものなのか

答 介護保険の給付費に不足が生じたときの財源や、3年ごとの保険料改定時に保険料の負担を抑えるための財源として使われている。

49号 原案可決

《決算審査特別委員会》

委員長 松山 教宗
副委員長 山上 他美夫

認定1号 令和6年度一般会計決算認定の件

総務費

問 広報紙メロディーについて、以前は町内会に配布手数

料を出していたが、復活する予定はあるのか



広報メロディー

答 町内会からの要望もあり、手数料の在り方については、検討していきたいと考えている。

民生費

問 「地域つながりサポート事業」について、不用額が多いが、事業の周知不足、又は対象メニューが町内の課題に合っていないのではないのか

答 周知不足も一つの要因と考えているが、今年度は親睦会の景品などが増加傾向にあるため、こういった使い方もできることを引き続き掲載し、今後より一層周知していきたい。

衛生費

問 「出産・子育て応援交付金事業」について、どのような条件で受け取ることができるのか

“妊婦のための支援給付”のご案内

すべての妊婦さんに安心して出産・子育てしてほしいーそんな思いを実現するため、妊婦さんへ「支援給付」を行っていること、ご存じですか？ 香市広野町の相談窓口では、給付の仕組みはもちろん、保健師等が妊娠・出産に関する疑問や不安に丁寧にお応えします。ぜひお気軽にお問い合わせください。

対象者 (※1)
妊娠している方

支給額 (※2)
妊婦給付認定後 5万円
妊娠している 妊婦さん 1人につき 5万円
子ども1人につき 5万円

給付と面談をセットで実施

1 まずは市区町村の相談窓口へ
窓口で給付の申請をし、相談を受ける

2 保健師等と面談し、給付を受ける
出産後はもちろん、出産前でも面談は可能

妊婦のための支援給付事業

答 令和4年4月以降に妊娠・出産された方を対象に、制限なく全ての対象者に給付するもので、子ども1人につき母子手帳交付時に5万円、出産後に5万円を給付している。

労働費

問 「地元就職等応援事業」について、近隣高校3年生を対象とした合同企業説明会とあるが、どこの高校なのか。また、地元就職した高校生は何人いるのか

答 近隣高校とは尚栄高校が対象となっている。なお、同校の卒業生50人のうち10人が美唄市に就職しており、そのうち8人が市内在住者であった。



合同企業説明会

グマについては、国から1頭当たり8000円、美唄市独自助成として1万円を上乗せして支払っている。

商工費

問 「観光振興事業」について、観光入込客数が令和5年度と比較して約5万人増えているが、増加の要因は何か

答 観光入込客数の増加要因については、冬季に日帰りのインバウンド観光客が増え、令和5年度の日帰り客7221人に対して、令和6年度は3万9886人となっている。また、びばいさくらも晴天に恵まれ、ゴールデンウィーク期間の観光客も増加の要因となっている。



びばいさくら

土木費

問 以前の決算委員会の中で公園のトイレの老朽化について指摘したが、庁内議論の進捗について。また、建物自体の耐用年数も過ぎているものもあると思うが、そこは議論されているのか



公園トイレ

答 公園のトイレについては、昨年の決算委員会後の庁内議論の中で、ほぼ和式という状況であったため、今年度から改修を進めることとなり、令和7年度は中央公園のトイレの洋式化を行った。

また、トイレの建物については、随時点検を行っているが、現在は特段危険な状況にはないことから、修繕の必要が生じた場合、その中で便器

の改修も行っていく。

消防費

問 「消防車両整備事業」について、2784万円が翌年度に繰越しとなっているが、予定されていた車両は納品されているのか

答 繰越しとなっている小型動力ポンプ付積載車、分団車については、現在メーカーにおいて車両の確保は完了し、仕様書に記載されているメーカーオプションの取付作業を行っている。取付作業後はギ装メーカに車両が移送され、ギ装作業完了後、令和7年度で導入可能と聞いている。



消防車両

教育費

問 郷土史料館の来館者数が

増え、今後の運営に新たな課題もあると思うが、どう対応していくのか

答 令和6年度はオリンピック日本代表選手の永山竜樹選手の応援展示や、新たに学芸員が入り、様々な自主事業を開催したことにより、来館者数が増えたものと考えている。今後は課全体で協力し、様々な利用者のニーズに対応できるように検討していく。



郷土資料館永山竜樹選手応援展示

認定2号 令和5年度美唄市民バス会計決算認定の件

問 A Iデマンドバスの実証運行が始まったが、導入する際に民間のタクシー会社へ事前説明を行ったのか。またA Iデマンドバスを導入したことによる、市民バスへの影響

はあったのか

答 AIデマンドバスの実証運行について議論している美唄市地域公共交通活性化協議会の構成員に民間事業者も入っており意見を聞いている。

東線の決算は昨年と同様であり、AIデマンドバスの導入による市民バスへの影響はない。



AIデマンドバスのるーと美唄

認定3号 令和6年度美唄市国民健康保険会計決算認定の件

問 国保税については、滞納処分が決算書に載っていない。滞納を未然に防ぐ抑止力として、強制処分である差し押さえの実績を載せるべきでは

答 自主納付を前提とした納

税相談が基本であるが、悪質滞納者への抑止力として滞納処分の実績について決算報告書への掲載を協議していきたい。

認定4号 令和6年度美唄市介護保険会計決算認定の件

問 今年の1月から、第1号被保険者の第1段階の所得区分及び限度額の所得区分が変更された。美唄市の介護保険料は令和6年度に改正されているが、本市の所得区分も変わるのか。また、市民周知はどのように行うのか

答 本市も同様に所得区分が80万円から80万9000円に変更になっている。周知については、被保険者へ配布するパンフレットには正誤表でお知らせし、ホームページ等の掲載や対面時の丁寧な説明などに努めていく。

認定5号 令和6年度美唄市介護サービス事業会計決算認定の件

問 恵風園・恵祥園の建替えについては、説明会を開いて、地元住民理解の下で進めてほしい。

答 峰延地域の方々には十分説明をしていきたいと考えている。



恵祥園・恵風園

認定6号 令和6年度美唄市後期高齢者医療会計決算認定の件

質疑なし

認定7号 令和6年度病院事業会計決算認定の件

問 公立病院等の経営が苦しいという新聞報道もあり、注目されている。今後の経営改善に向けて、具体的にどのようなことを進めていくのか

答 経営の安定化に向けては、令和5年3月に策定した経営強化プランの着実な推進、収

入増対策として令和7年度はCT更新による医療の質の向上、作業療法士の採用による施設基準の単価増に取り組んでいる。また、新しい医師との交流の場や職員の接遇研修を実施し、選ばれる病院となるよう努めている。



市立美唄病院CT

認定9号 令和6年度美唄市工業用水道事業会計決算認定の件

問 工業用水道事業の料金回収率が7・7%ということで、事業費の約93%を一般会計からの繰入金等で賄っているが、この状態をどのように捉えているのか

答 当初、工業用水道については、工業団地への企業誘致のために設置したものであり、その政策的判断から、料金収入で賄えない部分は一般会計からの繰り入れで賄うこととしている。企業誘致に関して、工業団地に工業用水道があることが大きなメリットであるため、事業廃止は検討していない。

と協議し、7月に上下水道課の経験職員2人を他部署から異動させ対応している。

全庁的に限られた職員の中で、適正な配置基準を設け、しっかりと仕事をこなせるような配置に引き続き努めていく。

表 1 補正予算

49号 令和7年度美唄市一般会計補正予算（第2号）

補正額	4億3525万3000円
補正後の予算総額	200億9615万8000円

歳入	国庫支出金	障害者総合支援事業費補助金	23万1000円
		学校施設環境改善交付金	1億100万0000円
道支出金		スマート農業・農業支援サービス事業導入	
		総合サポート緊急対策事業費補助金	1500万0000円
繰越金	繰越金		2億132万2000円
市債	体育施設整備債		1億1770万0000円

歳出	総務費	基金積立金（財政調整基金）	2億100万0000円
	民生費	障がい者福祉一般管理事務	46万4000円
	農林費	美唄スマート農業推進事業	1500万0000円
	教育費	総合体育館整備事業	2億1878万9000円

地方債補正

変更	限度額	
起債の目的	補正前	補正後
体育施設整備債	1660万0000円	1億3430万0000円

54号 令和7年度美唄市一般会計補正予算（第3号）

債務負担行為補正

追加	期間	
美唄国設スキー場整備費	令和8年度から令和9年度まで	
限度額		8億7758万4000円

答 国の交付金で実施する予定で、進徳第1と峰延第2のマンホールポンプ所の工事を予算計上していたが、1か所分の金額しか交付されなかったため、進徳第1マンホールポンプ所については令和7年度に先送りとした。



マンホールポンプ所

認定10号 令和6年度美咲市下水道事業会計決算認定の件
問 建設改良工事について、令和6年度予算で進徳第1のマンホールポンプ所改築更新工事と附帯工事が計上されていたが、決算書に記載がない。中止した理由について伺う。

書面審査

質疑なし

総括質疑

質疑なし

認定2～9号

原案可決

認定1・10号

起立採決 原案可決

《予算審査特別委員会》

委員長 川上 美樹
副委員長 齋藤 久美夫

54号 令和7年度美咲市一般会計補正予算(第3号)(表1)

問 本件については、本日前に承知し、当日の審議である。内容は昨日の特別委員会では説明された業務内容の変更についてであるが、早期提出を求めていた資料も直前であり、こうした対応も含め、一旦業務の整理が必要ではないか。
答 スキー場の整備事業については、内容変更があった場合は特別委員会を開催して説明をすることとしており、手順どおり、昨日の特別委員会で説明の上、本日の補正予算

表2 補正予算

50号 令和7年度美咲市国民健康保険会計補正予算(第1号)

補正額			991万1000円
補正後の予算総額			27億8779万0000円
歳入	繰越金	繰越金	991万1000円
歳出	基金積立金	基金積立金(国民健康保険支払準備基金)	683万1000円
	諸支出金	過年度清算金	308万0000円

51号 令和7年度美咲市介護保険会計補正予算(第1号)

補正額			6665万9000円
補正後の予算総額			31億7740万4000円
歳入	繰越金	繰越金	6665万9000円
歳出	基金積立金	介護給付費準備基金積立金	3852万2000円
	諸支出金	過年度清算金	2813万7000円

上程とした。今後は資料の早期提出に努めたい。

54号 起立採決 原案可決

議会構成

(議決を要する人事)

監査委員

森 明人

第3回定例会での審査議案

(簡単な内容説明です。委員会報告にある件は、委員会名を記載してあります。)

報告17号 例月現金出納検査結果報告

報告18号 令和6年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率報告の件

議案40号 美唄市給与条例及び美唄市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正の件

議案42号 北海道市町村職員退職手当組合規約の一部変更の件

議案41・43号 総務・文教委員会

議案45号 美唄市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正の件

議案46号 美唄市下水道条例及び美唄市給水条例の一部改

正の件

議案47号 美唄市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正の件

議案44・48号 産業・厚生委員会

請願1号 産業・厚生委員会

議案49・51・54号 予算審査特別委員会

認定1・10号 決算審査特別委員会

陳情1号 議会運営委員会

議案52・53号 美唄市固定資産評価審査委員会委員選任の件

意見書10号 有害鳥獣対策の推進を求める意見書

意見書11号 国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

意見書12号 令和7年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

意見書13号 すべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書

意見書14号 消費税を緊急に引き下げることを求める意見書

市議会の動き

7月

29日 美唄国設スキー場の整備等調査特別委員会

31日 総務・文教委員会

所管事務調査

現地調査

産業・厚生委員会

所管事務調査

8月

19日 北海道市議会議長会

道央支部協議会

議員研修会

29日 議会運営委員会

9月

3日 第3回定例会開会

8日 議会運営委員会

一般質問

9日 一般質問

10日 総務・文教委員会

産業・厚生委員会

議会改革推進委員会

11日 予算審査特別委員会

議会運営委員会

12日 決算審査特別委員会

16・17日 決算審査特別委員会

委員会

18日 決算審査特別委員会

美唄市国設スキー場の整備等調査特別委員会

19日 議会運営委員会

予算審査特別委員会
第3回定例会閉会

29日

議会運営委員会

10月

6日 広報委員会

編集後記

今夏は非常に暑い日が続きましたが、本市の基幹産業である稲刈りをはじめ各種収穫作業は例年よりとても早く始まりました。その中、昨年からの急激な米価高騰が止まず以前高水準にあり今後の値動きが気になります。

6月議会では委員会等の再編がありました。広報委員会全委員は再任され引き続き務めることとなりました。今後とも宜しくお願い致します。ここに議会だよりをお届けします。ご一読いただき誠にありがとうございます。(松山)

広報委員会

委員長 松山 教宗

副委員長 吉岡 建二郎

委員 江川 いつみ

委員 海鉾 則秀

お知らせ

本会議、委員会は、どなたでも傍聴できます。令和7年第4回定例会は、12月上旬の予定です。日程など詳しくは議会事務局(電話63-0141)にお問い合わせ下さい。



美唄市議会トップページ



美唄市議会中継